



2022年9月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

2022年8月12日

上場会社名 株式会社エアトリ
 コード番号 6191 URL <https://www.airtrip.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CFO

(氏名) 柴田 裕亮

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 兼 CFO

(氏名) 柴田 裕亮

TEL 0334316191

四半期報告書提出予定日 2022年8月15日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第3四半期の連結業績(2021年10月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	8,545	39.8	1,743	43.2	1,575	47.7	1,222	49.8	1,273	42.8	1,380	43.0
2021年9月期第3四半期	14,198	26.1	3,071		3,018		2,438		2,206		2,423	

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
2022年9月期第3四半期	57.54	56.43
2021年9月期第3四半期	105.03	102.47

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	24,666		9,326		8,617	34.9
2021年9月期	21,373		8,136		7,475	34.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2021年9月期		0.00		10.00	10.00
2022年9月期		0.00			
2022年9月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する 当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,500	17.2	2,600	17.2	2,470	18.8	1,820	23.2	82.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

不確実な社会経済情勢に鑑み、GoToトラベル等による国内旅行回復による収益寄与、海外旅行の回復、訪日観光客の回復、投資事業の貢献等のアップサイド要因は織り込まない保守的な業績予想としております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年9月期3Q	22,153,765 株	2021年9月期	21,579,665 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2022年9月期3Q	309 株	2021年9月期	271 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2022年9月期3Q	22,126,431 株	2021年9月期3Q	21,002,206 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の通期連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。

これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化、クライアントのニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更、為替変動等、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。